
家の外

佳木ゆう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

家の外

【Nコード】

N3724BA

【作者名】

佳木ゆう

【あらすじ】

29歳で生まれはじめて家を出た日の話。

一番面白くなりそうな部分をはしょってしまった。

読者が一人でもついたら冒険部分を丁寧に書く。

29年間自分は家の外に出たことが1度もなかった。

物心ついた頃から今の今まで、だ。

世間ではこれを引きこもりというのだろうが、俺の家では事情が少し違っていた。

「父さん、俺、家から出たい」

14歳のとき、俺は父に泣きながら言った。すると父は

「何も家から出なくても、困ることはない。食うに困ることもなく、娯楽も最新のものをいろいろと揃えている。何が不満なのだ」と不思議そうに言う。

「だって、テレビを見ると、みんな外で楽しそうだから。俺も外で遊びたい」

「外にあるものは大抵うちにもあるじゃないか？　なあ、窓の外を見る」

父は涼し気に言う。

窓の外に広がるのは、広大なうちの庭。遊園地もあれば、寺社仏閣、学校もある。ただし利用するのは一人息子である俺だけだが。

なので正確に言うと家に引きこもっているというより、家の敷地から出たことがないのだ。

俺は、家になんでもあるがために、外に行く必要がないという理由で、ずっと引きこもらされていた。

「外は危ないぞ。うちの敷地内とはいえ、お前の行ったことない場所もあるし、管理しきれっていない雑木林や、底なし沼、野獣のいるジャングル、それに心霊スポットもあるからな」

と、父。

「せめて成人してからにしないで。自分の人生を自分で責任とれる歳になったら、行きなさい」

「はい」

家から出るのが意外なほど危険だと聞いて、あっさり引き下がってしまった俺。

女の子とそろそろつきあいだしてもおかしくない思春期だが、家の敷地がこわすぎて結局、家にいた。

18になった。俺は父を殴った。

「どうしても家の外に出たいというなら俺を倒してからいけ」と父が言ったからだ。

俺はあっさり父に殴り倒されて、家の外に出る冒険を断念させられた。

それからの毎日、俺は筋力をつけるための訓練を重ねに重ね、とうとうムツキムキのマツチヨになった。

「父さん！」

30の誕生日になる前に、どうしても俺は、家の外に出るのだ。

父さんは、頷いた。

「成長したな。前は手加減をしたが、今日は手加減しないぞ」

父はまだまだ衰えていなかったが、声をあげながら殴り掛かる俺に、嬉し泣きをしながら殴り倒されてくれた。

「これをやるぞ」

父は、一枚の紙を俺にくれた。

地図だった。

家の見取り図と、敷地内の地図だ。

「すっげー広い……何キロあるんだよ」

俺は、猛獣が現れたときのために銃を持ち、重装備をして、家の敷地を何日も車で走った。

砂漠を横切るときがいちばんきつかったがなんとか持ちこたえられた。

やっと、うちの門が見えて、車で外に出たときは、言葉にならない

感動だった。

「やったー!!! とうとう、うちの外に出たぞ」
走り出す俺。

人影が見える。

「お、外に出て初めて出会う、人だ。それも美少女だ」

俺はテレビやネットや雑誌でしか見たことのなかった生身の美少女と遭遇した。

美少女はにこっとして俺に言った。

「あの、ここ、うちの敷地なんですけど」

隣の敷地に入ってしまったようだ。

「ずいぶんマツチョコな方ね。うちで働かない？ 男手が足りなくて困っていたのよ」

「いいんですか？ 願ってもないチャンス」

「じゃあ、これから家の中にいらっしやい」

俺は隣の家で働くことになった。

うちの100倍くらい広大な敷地の家だった。
今度は隣の家でこもることになった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3724ba/>

家の外

2012年1月9日19時53分発行